

2019年12月23日

三田市長 森哲男 殿

J R西日本ダイヤ改正に関する申し入れ

日本共産党三田市議員団

国永 紀子

長尾 明憲

日頃より三田市政の発展にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。
さて、この度12月16日の新聞紙上においてJ R西日本春のダイヤ改正が発表されました。
来年3月14日から昼間の「丹波路快速」を廃止し、新たに「区間快速」を運行するという
ものです。

宝塚～三田・新三田間においては合計6本から4本への便数減らしとなり、かかる所要
時間はこれまでの「丹波路快速」による「42分」から宝塚以北が各駅停車となることで「47
～52分」へと大幅に増えることとなります。

三田市の立地上、大都市圏、大阪へ約40分で行くことができるということは、ベットタ
ウンとして大きな売りであったのに、日中の時間帯だけとはいえダイヤ改正による市民へ
の利便性の低下は免れません。また、新聞記事にも書かれているように、これからの三田駅
前の再開発、新三田駅前の開発にも必ず影響を与えます。

この度のダイヤ改正においては、連結する神戸電鉄、神姫バス等のダイヤにも大きく影響
を与えるものであるうえ、市民の利便性をこれ以上損なわないように慎重な調整が求めら
れることとなります。

この間、公共交通会議等でも共に検討を進める中で、なぜこのような結果になったのでし
ょうか。せめて時間当たり1本の普通、丹波路快速を残すことはできなかったのではな
いか。

申し入れ事項

1. 三田市として12月16日に公表された来春3月14日のJ R西日本ダイヤ改正について、
J R西日本にも確認を行い、経緯を明らかにすること。(市との協議、報告はあったのか
等も含め)
2. 三田市として市民への影響を最小限にとどめるよう、J R西日本へ求めること。
時間当たりせめて丹波路快速を1本残すようJ R西日本へ要望すること。
3. 三田市としてJ R西日本と神戸電鉄、神姫バスの乗り換えに市民が支障をきたさないよ
う、スムーズな連結ができるように、事業者まかせにせず市として調整に力を尽くすこと。

書面にて早急にご回答いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。